**議事録**

文責：　小野ひかる

**(1)概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 要件定義、外部設計 |
| 日時 | ６月３日（木） |
| 出席者 | 市川、池田、小野、木谷、水鳥川、山北 |

**(2)会議内容**

|  |
| --- |
| 【朝　9:40～10:00】  **●心配事、これから意識すること**  ・チーム内のイメージ相違  　→画面の共有をして同じ視覚的にも認識をもつ。  　→わからないことがあれば都度発言して確認。  ・コース評価を検討すること  　→人日  　→決めた機能の中で入れるべき機能、余裕があれば入れたい機能等決める  　→優先順位を星印など付けて要件定義書に明確化。  【午前　11:25～12:00】  **●システムのつくりについて：セッション専用サイトなのか？質問サイトなのか？**  ・質問の量が多いことが講師の困っている点  　→質問専用サイトにすることが役立つサイトとして成り立つのではないか。  ・解決したい問題が絞り切れていないのではないか。  ・セッション専用の方がシンプルで納期に間に合いそうなシステム。  ・質問専用サイトだと技術力に対して懸念。  ・セッションと文書での質問の二つを作成。  　→セッション部門の制作が最優先。  　→文書での質問は余裕があれば制作する。  **●要件定義：優先順位の確認**  ・優先順位高  　→セッション予約とリスト表示（研修生）  　→セッション希望者の待ち人数の表示（講師）  　→リアクション機能（講師）  ・優先順位低  　→FAQの閲覧と編集  **●午後の予定確認**  ・座学  ・レビュー後要件定義のブラッシュアップ  ・外部設計  【午後①　14:15～15:00】  **●外部設計**  ・ログインページ：研修生用と講師用でページを分ける  　→「講師の方はこちら」でリンクを作る。  　→登録・リセットボタン  　→「新規登録画面　※研修生のみの機能」（優先順位は低め）  　→未入力時はエラーのアラートを表示する。  　→入力成功したらTOPページへ遷移。（講師用、研修生用）  ・トップページ  　→（話し合い途中でセッション終了）  【午後②　15:10～16:00】  ●要件定義書レビュー：講師からのフィードバック  　→（ア）の部分をより分かりやすく  　　　一日平均質問数は約50件（最高80件程度）であり、一人で対応するには困難な状況。  　→２，システム要件は2行は必要（加筆の必要あり）  　→システム機能のボリューム自体は多め（優先順位を決めて作成するのであれば◎）  　→機能設計を考えていく中で、間に合わないものがありそうだったら省く方針で進める。（都度修正）  　→機能設計をしていく中で、流用設計したらこなせそうなものを考える。  　→テスト分の日数を網羅して間にあるかどうかを考える。  　※試行錯誤するときは実験してみる。  **●要件定義書：ブラッシュアップ**  ・書き方の変更の提案：システム機能を3つに大分類し、細かな機能を書く。  【午後③　16:10～17:00】  **●外部設計**  ・トップページ：メインタグ内は「セッション予約」「FAQ」「質問ページ」。  　→トップページそのものがメニューになるため、ナビゲーションは付けない。  　→ヘッダーにはログアウトボタンのみ  　→セッション予約している人は、トップページに「セッションまであと何人」と表示  　　（研修生がわかりやすいように、手間を省くため）  　　（予約してない人には表示されないようにする）  　→検索バー：入力されたキーワードに該当するFAQ項目にじゃんぷする。  　　（技術的・納期を鑑みて優先順位は下げておく）  【振り返り】  ●進捗  ・要件定義書の完成  ・外部設計書：2割程度（機能・アウトラインのみ、デザイン×）  ・機能一覧：2割程度  ●明日やること  ・外部設計書完成・レビュー（デザイン抜き）  （・デザインの方向性決め）  ●疑問点  ・要件定義書のシステムの要件の内容（2行分の内容は？） |

**(3)決定事項**

|  |
| --- |
| ・E1のwebアプリケーションはセッション専用ではなく、質問総合サイトに決定。  　→余裕がなければ、優先順位の低い機能を省略。 |

**(4)明日の課題・問題点**

|  |
| --- |
| ・外部設計書の完成（デザインはいったん省略。）  ・イメージの相違を都度確認で未然に防ぐよう意識してセッションを行う。  　→チームメンバーで細かく確認しあう。 |